

清川村教育委員会会議録

日 時 令和7年8月25日（月）午前9時から10時55分
場 所 役場庁舎4階住民センター集会室
出席委員 山田一夫教育長、橋本直人職務代理者、山田比呂美委員、
小室美和委員、遠藤陽子委員
事務局 小野参事兼指導主事、相原学校教育課長、岩澤生涯学習課長、
奥脇指導主事、坂本係長、遠藤教育支援センター専任教諭

議事日程

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 案件
 - (1) 前回会議録の承認について
 - (2) 教育長の報告
 - (3) 教育要覧「清川の教育」について
 - (4) 宮ヶ瀬中学校休校等に伴う地元説明会について
 - (5) 幼保小中一貫校の進捗状況について
 - (6) その他
 - ① 9・10月分行事予定
 - ② 第39回青龍祭の報告
 - (7) 議案第18号 要保護・準要保護児童生徒の決定について
- 4 次回の会議日程
- 5 閉会

教育長あいさつ

おはようございます。幼稚園および各小中学校は、夏休みも残すところあとわずかとなり、もうすぐ2学期を迎えます。夏休みに入る直前には、全国的に水難事故が多発し心配いたしました。各校に校長先生を通じて水難事故、水場での安全な過ごし方について注意喚起をしていただきました。今のところ、水難事故を含め大きな事故の報告は、教育委員会に入ってきておりません。子ども達が安全に夏休みを終えられることを願っています。

この夏休みも村の多くの子どもたちが、様々な場所で行われた体験活動を通し、多くのことを学び経験し成長しました。恒久平和推進事業では、村長と共に広島を訪れ、平和記念式典に参加し様々な事を肌で感じ学んできました。広域中学生交流洋上体験では、2泊3日の集団生活を通して、協力し合いながら大自然の中で主体的に活動に取り組んできました。また、委員の皆様にもご出席いただいた青龍祭には、多くの園児児童生徒が参加し、汗だくになりながら、村内のパレードやパフォーマンスを行い、青龍祭を盛り上げてくれました。

いよいよ今週から2学期がスタートします。28日に宮ヶ瀬中学校、29日緑中学校、そして幼稚園と緑小学校は9月1日からスタートとなります。2学期は多くの行事が予定されています。学校の行事は、児童や生徒が他者と協力し目標を達成する経験を通して、人間関係や責任感、公共心、主体性といった、心の成長を育むことから「行事が人を作る」と言われます。行事を通して子ども達には大いに活躍し、成長してほしいと思います。

また、2学期は勉学の秋でもあります。中学3年生は進路選択、進路決定を控える大切な時期です。しっかりと学習に取り組み、学力を定着させ、一人一人が思い描く進路の実現に向けてがんばってほしいと思います。

子ども達が各場所・各場面で自分の力を遺憾なく発揮できるよう、教育委員の皆様にもご支援いただければと思います。

最後にご報告となります。今年の夏の甲子園は沖縄尚学の優勝で幕を閉じましたが、清川村出身の生徒も出場し活躍してくれました。3位に入賞した山梨学院高校に所属している生徒です。山梨県の代表校として初のベスト4という成績を収め、とても素晴らしい結果となりました。実は、その山梨学院高校と山梨県大会の決勝で対戦した日本航空高校にも清川村出身の生徒が所属しております。様々な場所で村出身の子ども達が活躍しています。その他にも全国女子中学生公式野球選手権大会では、緑中に通っている生徒が、神奈川県代表として出場し3位に入賞し、少年野球大会で全国出場した生徒もいます。清川村の子ども達が活躍している話を聞き、とても嬉しく感じます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

案件（1）前回会議録の確認

◎事務局から「資料1」により説明を行い、前回会議録（R7. 7. 29）の確認をしました

案件（2）教育長の報告

◎教育長から別紙「資料2」により、教育長の動向について報告しました。

案件（3）「清川教育」について

事務局 清川村総合計画前期基本計画、清川村教育大綱等資料等を使って説明しました。

案件（4）宮ヶ瀬中学校休校等に伴う地元説明会について

事務局 宮ヶ瀬中休校について休校を検討したこれまでの経緯、清川村幼保小中一貫校について、宮ヶ瀬地区合同体育祭の今後について、地元説明会の資料を使って説明しました。

委員 体育祭のアンケートについては、誰がどの回答をしたのかわかるものですか。また、アンケートでは体育祭を残したいという意見が多いですが、残す場合、自治会の誰が運営をしていく想定ですか。

事務局 アンケートは無記名なので誰がどう回答したのかはわかりません。

今年の体育祭は、最後の体育祭という事で学校や卒業生たちが周囲に声掛けをして人数を集めた結果、過去5年間で参加者が一番多い体育祭となりました。地域住民以外の方も多く参加しているため、アンケートから地域の人が続けたいと言っているのか、地域外の人が答えているのかはわからない状況です。

委員 地元の人の中で続けたいという人がどのくらいいたのかを知りたい。参加はしたいけれど、運営に協力できないというのはどうかと考える。

事務局 当日の意見交換では、一つの意見としてお預かりしますと伝えていきます。今後、機会がありましたら宮ヶ瀬住民の皆さんのご意見をもう一度お聞ききしたいと思います。先日の説明会では、従前の形で体育祭を継続するのは難しいだろうとの意見が多くありました。また、種目を絞ってレクリエーションのような形で地域コミュニティのイベントとして残していくという意見もありました。

委員 自治会としては、運動会について3月末から話が出ていました。行政で決めてもらいたいという意見や、学校と地域が主体となってやっていた行事だから村に決めてもらうのは違うという意見等、様々な意見が出ていましたが、今年の自治会の動きとしては、役場で決めてもらいたいという意見が多いように感じました。

事務局 住民の皆様のご意見を聞き、いずれ次年度の計画を決定する時期がきます。現在、みどりホールを会場に開催しているボッチャ体験会等、生涯スポーツ事業の会場を宮ヶ瀬で開催する等、地域の方にとって大きな負担にならない形で次年度の計画を進めていけたらと考えています。

委員 今年度、宮ヶ瀬地区の児童・生徒の登下校時の送迎について、どのような形で行っているのでしょうか。

事務局 令和6年度当初は、登下校時に送迎員さんが一緒にバスに乗り引率していましたが、今年の4月からは、登校時は緑小学校前バス停から緑小学校まで、下校時はせせらぎ館から役場前バス停まで引率する形となっています。

また、学期ごとに行っている保護者との面談では、低学年の児童が一人で下校となった場合に心配があるとの意見がありました。また、その他バスに乗り遅れたり、トラブルがあったりした場合の対応について心配の声もありました。

保護者の方には、登校班のような形で、朝、バスに乗車する、しないを

児童、生徒の保護者間で連絡を取り合い、バスの利用者をお互いに把握できるようにできないか相談しています。

委員 煤ヶ谷地区の登下校と比べると手厚いと感じます。

事務局 宮ヶ瀬地区はバスに乗らないと通学できないという状況にあります。また、少子化により登校班も機能しなくなっている現状もあります。そのため、心配に思われる保護者の方もいるので、安全を確保しながら、児童のみで乗降ができることを目指して取り組んでいきたいと考えています。

委員 基本的には、通学は保護者の責任のもとで行うものだと考えています。宮ヶ瀬地区の状況や少子化の現状も理解しておりますが、村の人的資源や家庭への支援にも限界があると感じています。

事務局 宮ヶ瀬小学校が休校になるにあたって、当初村では、ワゴン車での送迎を考えておりました。そのため、安全面からプロのドライバーである第二種の運転免許を取得している適任者を探していましたが、運転手の確保ができませんでした。その代案として、神奈川中央交通のバスを利用した、送迎員さんの引率による形で運用が始まり、保護者との話し合いの中で、現在の状況にいたっています。

案件（５）幼保小中一貫校の進捗状況について

事務局 令和７年度清川村幼保小中一貫校施設整備検討委員会第１回会議について、幼保小中一貫校施設整備検討委員会について、幼小中一貫校施設整備基本構想について、幼保小中一貫校施設整備基本計画案について、今後のスケジュールについて、幼小中一貫校施設候補地の選定について、清川村幼保小中一貫校施設整備基本計画（素案）について、資料を使って説明しました。

案件（６）その他

事務局 令和７年９月１０月分行事予定について

事務局 第３９回青龍祭の報告、資料を使って説明しました

委員 スマイルウェーブ、洋上体験報告会は見学できるのか

事務局 スマイルウェーブは見学可能、洋上体験報告会は調整中

案件（７）議案第１８号 要保護・準要保護児童生徒の決定について

この案件については、個人情報を取り扱うことから審議を非公開とします。

◎事務局から「資料」により要保護、準要保護の決定について説明をしました。

◎審議の結果、異議なしで原案のとおり承認されました。

※審議は、非公開のため意見等は会議録には記載しません。

次回の会議日程

◎ 次回の教育委員会会議は、令和7年9月29日（月）午前9時から

閉会

職務代理 閉会宣言（午前10時55分）

令和7年9月29日

教 育 長

山田 一夫

教育長職務代理者

橋本 直人

委 員

山田 比呂美

委 員

遠藤 陽子

委 員